

【記載例】様式例(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(活動計算書)」)

当該事業年度の自至年月
日を記載

(元号)〇〇年度 活動計算書
(元号)〇〇年〇〇月〇〇日 から (元号)〇〇年〇〇月〇〇日まで
特定非営利活動法人〇〇〇
(単位:円)

科目		金額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	300,000		
賛助会員受取会費	700,000		
		1,000,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	500,000		
		500,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0		
		0	
4. 事業収益			
〇〇事業収益	7,300,000		
		7,300,000	
5. その他収益			
受取利息	1,000		
雑収益	49,000		
		50,000	
経常収益計			8,850,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,300,000		
法定福利費	350,000		
臨時雇賃金	1,500,000		
人件費計	5,150,000		
(2) その他経費			
会議費	300,000		
旅費交通費	150,000		
業務委託費	1,000,000		
減価償却費	150,000		
地代家賃	1,350,000		
その他経費計	2,950,000		
事業費計		8,100,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	600,000		
人件費計	600,000		
(2) その他経費			
消耗品費	60,000		
地代家賃	450,000		
減価償却費	50,000		
支払手数料	100,000		
雑費	50,000		
その他経費計	710,000		
管理費計		1,310,000	
経常費用計			9,410,000
当期経常増減額			△ 560,000
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	10,000	10,000	
経常外収益計			10,000
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	10,000	10,000	
経常外費用計			10,000
当期正味財産増減額			△ 560,000
前期繰越正味財産額			3,260,000
次期繰越正味財産額			2,700,000

各科目の記載は、使用状況
に応じて適宜追加・削除し
てください。

様式のExcelファイルには、一部
数式が入力されていますが、計算
範囲が正しいかご確認ください。

人件費とその他経費
に分けた上で、支出
の形態別に内訳を記
載してください。

人件費とその他経費
に分けた上で、支出
の形態別に内訳を記
載してください。

前事業年度活動計算書の
「次期繰越正味財産額」
と金額が一致します。

貸借対照表の「正味財産合
計」と金額が一致します。

「その他の事業」を定款で掲げ
ていない法人はこの脚注は不要

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れる予定である場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金
受取寄附金振替額
.....

II 経常費用

2. 事業費
援助用消耗品費
.....

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金
.....

一般正味財産への振替額

【記載例】様式例(法第28条第1項「前事業年度の計算書類(定款にその他の事業が掲げられている場合の活動計算書)」)

(元号)〇〇年度 活動計算書 当該事業年度の自至年月日を記載
 (元号)〇〇年〇〇月〇〇日 から (元号)〇〇年〇〇月〇〇日まで
 特定非営利活動法人〇〇〇
 (単位: 円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	400,000		400,000
賛助会員受取会費	500,000		500,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金	500,000		500,000
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	0		0
4. 事業収益			
〇〇事業収益	3,000,000		3,000,000
〇〇事業収益	5,000,000		5,000,000
〇〇事業収益		540,000	540,000
5. その他収益			
受取利息	1,000		1,000
雑収益	49,000		49,000
経常収益計	9,450,000	540,000	9,990,000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	2,300,000	150,000	2,450,000
法定福利費	700,000		700,000
臨時雇賃金	1,000,000		1,000,000
福利厚生費			0
人件費計	4,000,000	150,000	4,150,000
(2) その他経費			
会議費	500,000		500,000
旅費交通費	300,000	50,000	350,000
業務委託費	900,000	40,000	940,000
減価償却費	400,000		400,000
その他経費計	2,100,000	90,000	2,190,000
事業費計	6,100,000	240,000	6,340,000
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	1,200,000		1,200,000
給料手当	1,200,000		1,200,000
人件費計	2,400,000	0	2,400,000
(2) その他経費			
業務委託費	300,000		300,000
地代家賃	600,000		600,000
雑費	100,000		100,000
その他経費計	1,000,000	0	1,000,000
管理費計	3,400,000	0	3,400,000
経常費用計	9,500,000	240,000	9,740,000
当期経常増減額	△ 50,000	300,000	250,000
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益			0
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	70,000		70,000
経常外費用計	70,000	0	70,000
経理区分振替額	300,000	△ 300,000	0
当期正味財産増減額	180,000	0	180,000
前期繰越正味財産額	△ 50,000	0	△ 50,000
次期繰越正味財産額	130,000	0	130,000

各科目の記載は、使用状況に応じて適宜追加・削除してください。

様式のExcelファイルには、一部数式が入力されていますが、計算範囲が正しいか必ずご確認ください。

人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載してください。

人件費とその他経費に分けた上で、支出の形態別に内訳を記載してください。

前事業年度活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額が一致します。

貸借対照表の「正味財産合計」と金額が一致します。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等(対象事業等が定められた補助金等を含む)を受け入れる予定である場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額

.....

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費

.....

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

.....

一般正味財産への振替額

【記載例】様式例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

(元号)〇〇年度 貸借対照表
(元号)〇〇年〇〇月〇〇日現在

当該事業年度の末日を記載してください。

特定非営利活動法人〇〇〇

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,000,000		
未収金	700,000		
.....			
流動資産合計		2,700,000	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	1,550,000		
什器備品	300,000		
.....			
有形固定資産計	1,850,000		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	100,000		
.....			
無形固定資産計	100,000		
(3) 投資その他の資産			
敷金			
〇〇特定資産			
.....			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		1,950,000	
資産合計			4,650,000
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	100,000		
預り金	150,000		
.....			
流動負債合計		250,000	
2. 固定負債			
長期借入金	1,700,000		
退職給付引当金			
.....			
固定負債合計		1,700,000	
負債合計			1,950,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			3,260,000
当期正味財産増減額			△ 560,000
正味財産合計			2,700,000
負債及び正味財産合計			4,650,000

各科目の記載は、法人の会計科目の使用状況に応じて適宜追加・削除してください。

様式のExcelファイルには、一部数式が入力されていますが、計算範囲が正しいか必ずご確認ください。

【記載例】様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

(元号)〇〇年度 財産目録
(元号)〇〇年〇〇月〇〇日現在

当該事業年度の末日を記載してください。

特定非営利活動法人〇〇〇
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	50,000	
××銀行普通預金	1,950,000	
未収金		
××事業未収金	700,000	
.....		
流動資産合計		2,700,000
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1,550,000	
什器備品		
パソコン1台	200,000	
応接セット	100,000	
歴史的資料	評価せず	
.....		
有形固定資産計	1,850,000	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
財務ソフト	100,000	
.....		
無形固定資産計	100,000	
(3) 投資その他の資産		
敷金		
〇〇特定資産		
××銀行定期預金		
.....		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		1,950,000
資産合計		4,650,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
事務用品購入代	100,000	
.....		
預り金		
源泉所得税預り金	150,000	
.....		
流動負債合計		250,000
2. 固定負債		
長期借入金		
××銀行借入金	1,700,000	
.....		
固定負債合計		1,700,000
負債合計		1,950,000
正味財産		2,700,000

各科目の記載は、法人の会計科目の使用状況に応じて適宜追加・削除してください。

口座番号の記載は不要

様式のExcelファイルには、一部数式が入力されていますが、計算範囲が正しいか必ずご確認ください。

金銭評価ができない資産も「評価せず」として財産目録

正味財産＝資産合計－負債合計